

2009年3月期

決算短信添付資料（決算説明会資料）



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



2009年3月期 実績



2009年3月期 実績

■ 全社業績

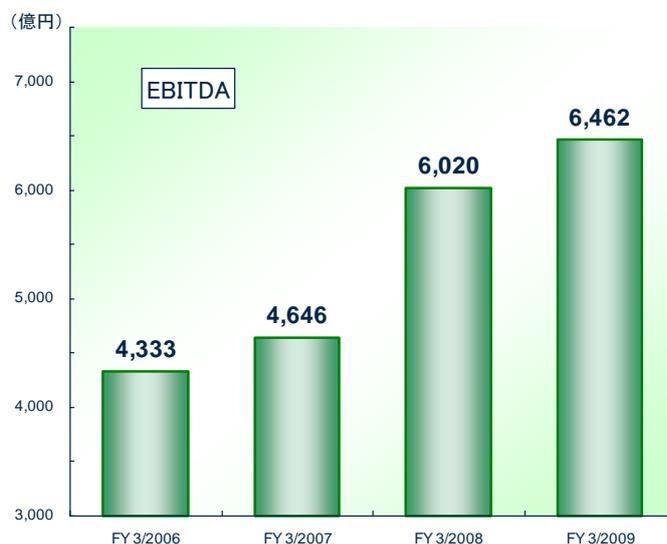
海外たばこ事業におけるトップライン成長の継続に加えGallaherの連結等により、売上高、EBITDAは増収・増益、過去最高を達成

(単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期	増減
税込売上高	64,097	68,323	4,225 (6.6%増)
税抜売上高*	20,683	22,951	2,267 (11.0%増)
EBITDA	6,020	6,462	441 (7.3%増)
営業利益	4,305	3,638	△ 667 (15.5%減)
経常利益	3,626	3,075	△ 550 (15.2%減)
当期純利益	2,387	1,234	△ 1,153 (48.3%減)

【参考: のれんの償却影響を除く主要利益】

営業利益	4,344	4,693	348 (8.0%増)
経常利益	3,665	4,130	465 (12.7%増)
当期純利益	2,425	2,289	△ 136 (5.6%減)



*国内たばこ事業における輸入たばこ、海外たばこ事業における物流事業を除く

2009年3月期 実績

国内たばこ事業

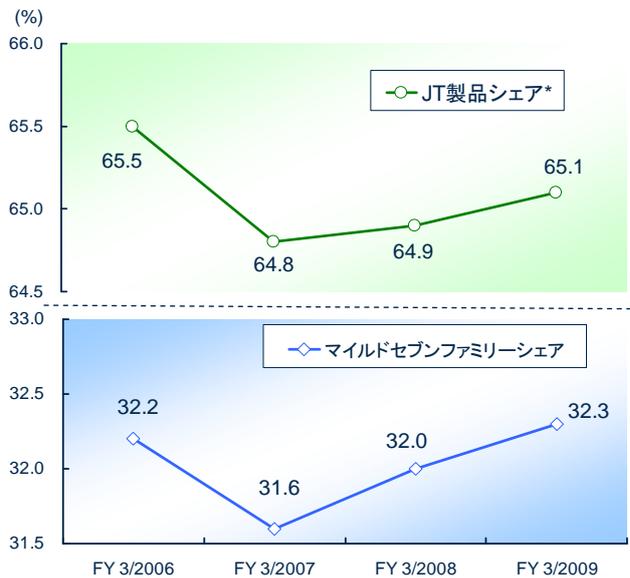
販売数量の減少に加え、taspo導入により販売ウエイトが高まった対面販路へ販売促進費を積極的に投入したことおよびコストの増加等により、減収・減益となるも、2期連続のシェアアップを達成

(単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期	増減
税込売上高	33,623	32,004	△ 1,619 (4.8%減)
税抜売上高 (除く輸入たばこ)	7,150	6,793	△ 357 (5.0%減)
EBITDA	3,067	2,722	△ 344 (11.2%減)
営業利益	2,223	1,882	△ 340 (15.3%減)

(単位: 億本)

JT販売数量	1,677	1,599	△ 78 (4.7%減)
国内総需要	2,584	2,458	△ 126 (4.9%減)
JT販売数量シェア	64.9%	65.1%	0.2%



* 新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウinston・セラム等)

5

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

海外たばこ事業

GFBを中心としたトップライン成長の継続およびGallaherの連結等により、売上高、EBITDAは前年を大幅に上回る

(単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期	増減
税込売上高	26,399	31,183	4,783 (18.1%増)
税抜売上高 (除く物流事業)	9,459	11,023	1,563 (16.5%増)
EBITDA	2,707	3,379	672 (24.8%増)
営業利益	2,053	1,747	△ 305 (14.9%減)

(参考) JTへのロイヤリティー支払い前ドルベース (単位: 百万USD)

EBITDA	2,452	3,452	1,000 (40.8%増)
総販売数量(億本)	3,856	4,523	667 (17.3%増)
GFB販売数量(億本)	2,032	2,455	423 (20.8%増)
JPY/USD	117.85	103.48	△ 14.37



(参考) JTへのロイヤリティー支払い前比較可能ドルベース (単位: 百万USD)

	2008年3月期	2009年3月期	増減
税抜売上高 (除く物流事業)	9,076	10,652	1,576 (17.4%増)
EBITDA	2,830	3,452	622 (22.0%増)
総販売数量(億本)	4,302	4,523	221 (5.1%増)
GFB販売数量(億本)	2,166	2,455	289 (13.3%増)

Note1: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結
Note2: 2008年3月期については、2007年4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結

6

* JTへのロイヤリティー支払い前ドルベース

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

■ 医薬事業

「JTT-305」の導出に伴う契約一時金収入および導出した「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入等から、増収となり、利益面についても改善

(単位:億円)

	2008年3月期	2009年3月期	増減
売上高	490	567	76 (15.7%増)
EBITDA	△ 62	48	111 -
営業利益	△ 96	10	106 -

JTT-705: 導出先のロシュ社においてPhase3に移行
(2008年4月同社公表)

JTK-303: 導出先のギリアド・サイエンス社においてPhase3に移行
(2008年7月同社公表)

JTT-305: メルク社へ導出することに関するライセンス契約を締結
(2008年9月公表)

MEK阻害剤: 導出先のグラクソ・スミスクライン社において臨床入り(Phase1)
(2009年3月同社公表)

臨床開発品目(2009年4月30日現在)

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内: Phase2
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内: Phase2 海外: Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内: Phase1
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外: Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内: Phase2
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内: Phase1
JTT-654(経口)	2型糖尿病	国内: Phase1 海外: Phase1
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外: Phase1
JTT-751(経口)	リン吸着剤	国内: Phase2

2009年3月期
臨床試験開始
(3品目)

※前回(2009年2月9日)公表時からの変更点: JTT-751の国内臨床入り
JTT-651の開発中止

7

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

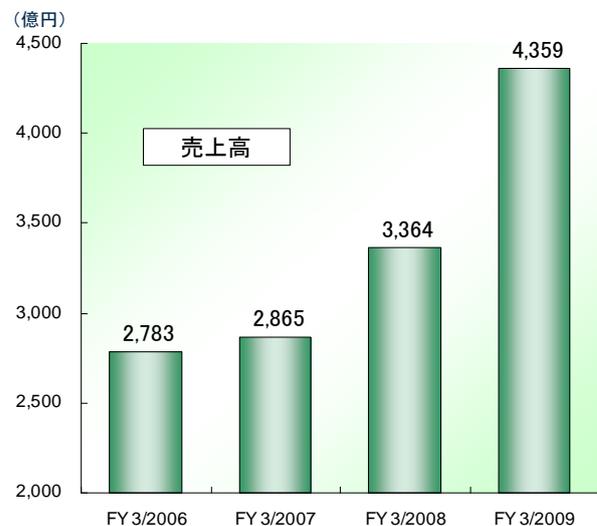
■ 食品事業

加ト吉グループの連結等により増収となるも、営業損益は経費の増加、原材料価格の高騰、のれん償却の影響等により営業損失を計上

(単位:億円)

	2008年3月期	2009年3月期	増減
売上高	3,364	4,359	995 (29.6%増)
EBITDA	83	170	86 (103.9%増)
営業利益	6	△ 114	△ 121 -

Note: 2008年3月期については、1月1日以降3月31日までの加ト吉の実績を連結



8

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

株主還元

- ◆ 配当水準は着実に向上、のれん償却影響を除いた配当性向は20%を上回る

のれん償却影響除き配当性向と1株当たり配当金の推移



* 2006年4月1日を効力発生日として、1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2006年3月期の実績は遡及して修正

(このスライドは空白です)

2010年3月期 業績予想



2010年3月期 業績予想

国内たばこ事業

販売数量の減少により減収・減益を見込むものの、シェア拡大に向けた取り組みを継続・強化し、3期連続のシェアアップを目指す

(単位:億円)			
	2009年3月期 実績	2010年3月期 見込	増減
税込売上高	32,004	30,480	△ 1,524 (4.8%減)
調整後税抜売上高*	6,488	6,190	△ 298 (4.6%減)
EBITDA	2,722	2,460	△ 262 (9.7%減)
営業利益	1,882	1,880	△ 2 (0.1%減)

【主な前提条件】

(単位:億本)

JT製品販売数量	1,599	1,525	△ 74 (4.6%減)
----------	-------	-------	-----------------



* 輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

2010年3月期 業績予想

■ 海外たばこ事業の販売実績(速報) 2009年1-3月期

特殊要因を除けば、総販売数量は前年を上回り、GFBは成長を継続

	2009年3月期 1-3月期	2010年3月期 1-3月期
総販売数量 [*] (億本)	1,024	1,009 (-1.4%)
GFB販売数量 (億本)	556	571 (+2.6%)

【2009年1-3月期 地域別販売実績^{*}】

	総販売数量	GFB販売数量
■ South & West Europe	+0.8%	+3.2%
■ North & Central Europe	+3.0%	-0.1%
■ CIS+	-3.6%	+1.4%
■ Rest of the World	-0.5%	+4.6%

* Private Brandを除き、Cigar/Pipe/Snus込み

13

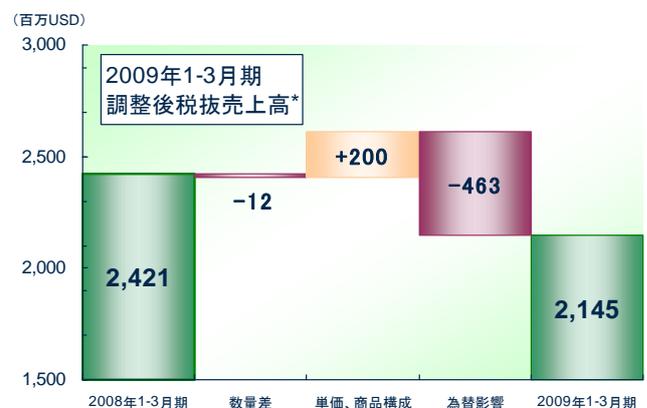


2010年3月期 業績予想

■ 海外たばこ事業の税抜売上高(速報) 2009年1-3月期

貢献度合いが高まる単価、商品構成

	2009年3月期 1-3月期	2010年3月期 1-3月期
調整後税抜売上高 [*] (百万USD)	2,421	2,145 (-11.4%)
調整後千本当税抜売上高 ^{**} (USD)	24.3	21.5 (-11.8%)



* 物流事業、PB、製造受託、その他を控除

**Private Brand除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、PB、JV販売数量を控除

注：販売数量で今回から計上するCigar/Pipe/Snusについては、従来から売上高に計上している

14



2010年3月期 業績予想

海外たばこ事業

トップライン成長の実現、事業基盤の拡充により、EBITDA10%を大きく上回る成長（為替変動を除く）の実現を目指す

<USDベース>

(単位:百万USD)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 見込	増減
調整後税売上高*	10,449	9,370	△ 1,079 (10.3%減)
JTへのロイヤリティ支払い前 EBITDA	3,452	2,500	△ 951 (27.6%減)

【主な前提条件】

総販売数量(億本)**	4,459	4,560	101 (2.3%増)
GFB販売数量(億本)	2,455	2,620	165 (6.7%増)
RUB/USD	24.84	36.00	11.16 (31.0%安)
GBP/USD	0.53	0.73	0.20 (27.4%安)
EUR/USD	0.68	0.81	0.13 (16.0%安)

<JPY・開示ベース>

(単位:億円)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 見込	増減
税込売上高	31,183	24,750	△ 6,433 (20.6%減)
調整後税売上高*	10,812	8,900	△ 1,912 (17.7%減)
EBITDA	3,379	2,090	△ 1,289 (38.2%減)
営業利益	1,747	710	△ 1,037 (59.4%減)

【主な前提条件】

JPY/USD	103.48	95.00	△ 8.48 (8.9%高)
---------	--------	-------	-------------------

Note: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結

2010年3月期見込に対する為替変動の影響(USD vs. JPYを除く全ての主要通貨)

仮にUSDが全ての通貨に対して1%変動するとEBITDAは\$35MM変動 / 内訳としては、RUB影響40%、GBP影響15%

* 物流事業、PB、製造受託、その他を控除

**Private Brandを除き、Cigar/Pipe/Snus込み

注: 販売数量で今回から計上するCigar/Pipe/Snusについては、従来から売上高に計上している

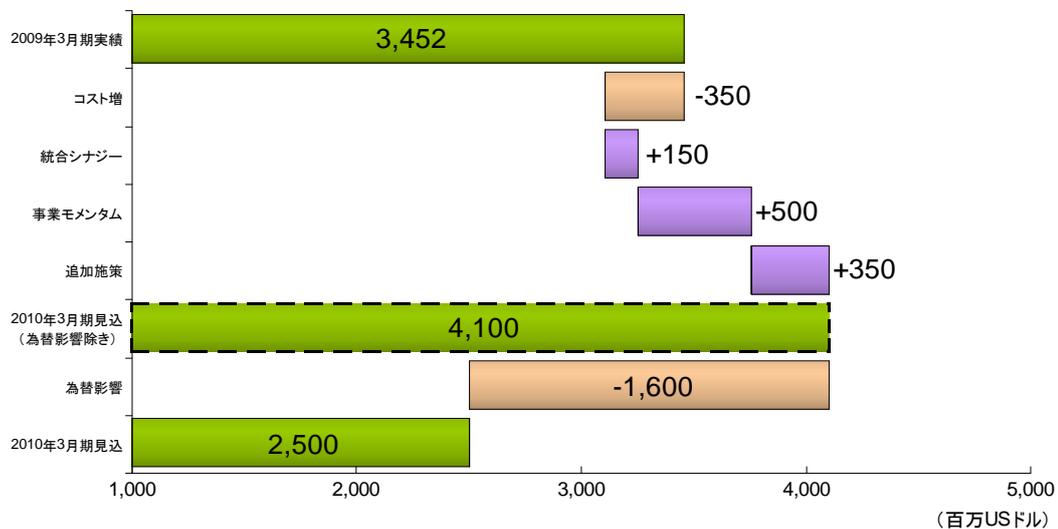
15

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 業績予想

海外たばこ事業

【USDベースEBITDAのロードマップ】



16

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 業績予想

■ 医薬事業

鳥居薬品の増収はあるものの、一時金収入等がなくなることで、減収・減益を見込む

(単位:億円)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 見込	増減
売上高	567	430	△ 137 (24.2%減)
EBITDA	48	△ 125	△ 173 -
営業利益	10	△ 165	△ 175 -

■ 食品事業

各事業における効率性の追求による収益力の強化ならびに加工食品事業を中心としたシナジー効果等により、EBITDAは増益を見込む

(単位:億円)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 見込	増減
売上高	4,359	4,130	△ 229 (5.3%減)
EBITDA	170	180	9 (5.7%増)
営業利益	△ 114	△ 80	34 -

2010年3月期 業績予想

■ 連結業績予想

国内たばこ事業における販売数量の減少や海外たばこ事業における為替の影響等により、減収・減益

(単位:億円)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 見込	増減
税込売上高	68,323	60,000	△ 8,323 (12.2%減)
調整後税抜売上高*	22,436	19,850	△ 2,586 (11.5%減)
EBITDA	6,462	4,750	△ 1,712 (26.5%減)
営業利益	3,638	2,440	△ 1,198 (32.9%減)
経常利益	3,075	2,270	△ 805 (26.2%減)
当期純利益	1,234	1,000	△ 234 (19.0%減)
ROE(%)	6.8%	6.2%	△ 0.6%
FCF	2,401	1,690	△ 711

【参考:のれんの償却影響を除く当期純利益、配当性向、EPS】

	2009年3月期 実績	2010年3月期 見込	増減
当期純利益 (億円)	2,289	1,970	△ 319 (13.9%減)
EPS(円)	23,894.55	20,563.50	△ 3,331.05
1株あたり配当金(円)	5,400	5,600	200
配当性向(%)	22.6%	27.2%	4.6%

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他及び海外たばこ事業における物流事業、PB、製造受託、その他を控除

【参考資料】

2009年3月期 実績 および 2010年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

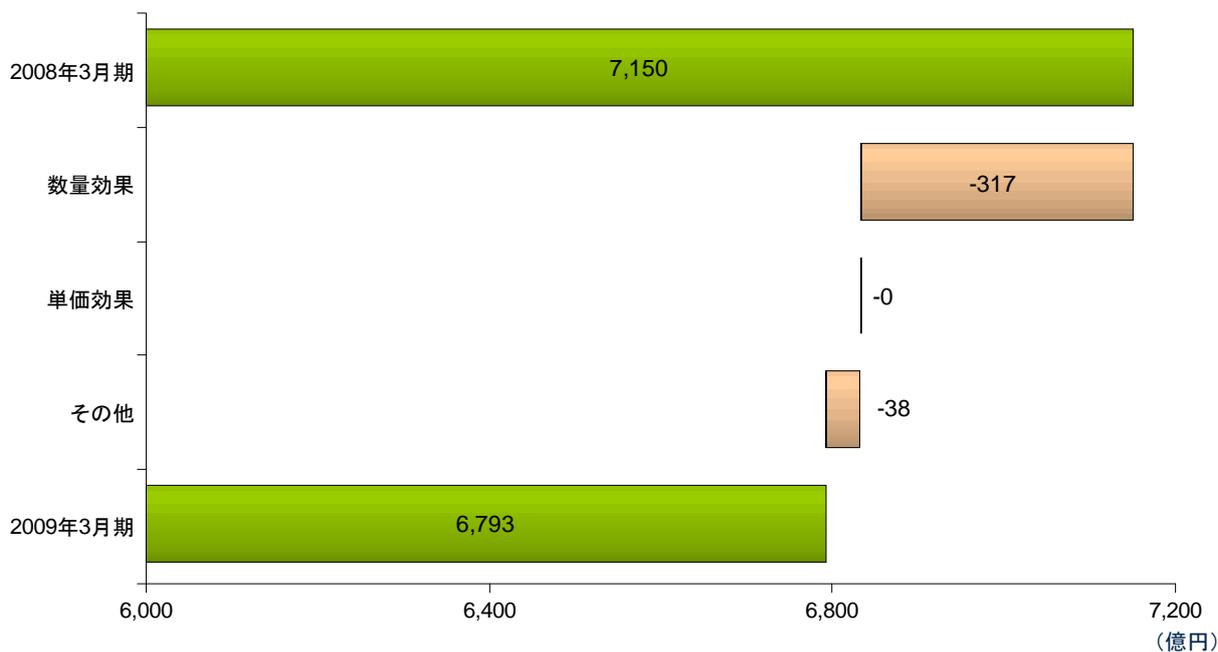
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2009年3月期 実績

国内たばこ事業 税抜売上高*



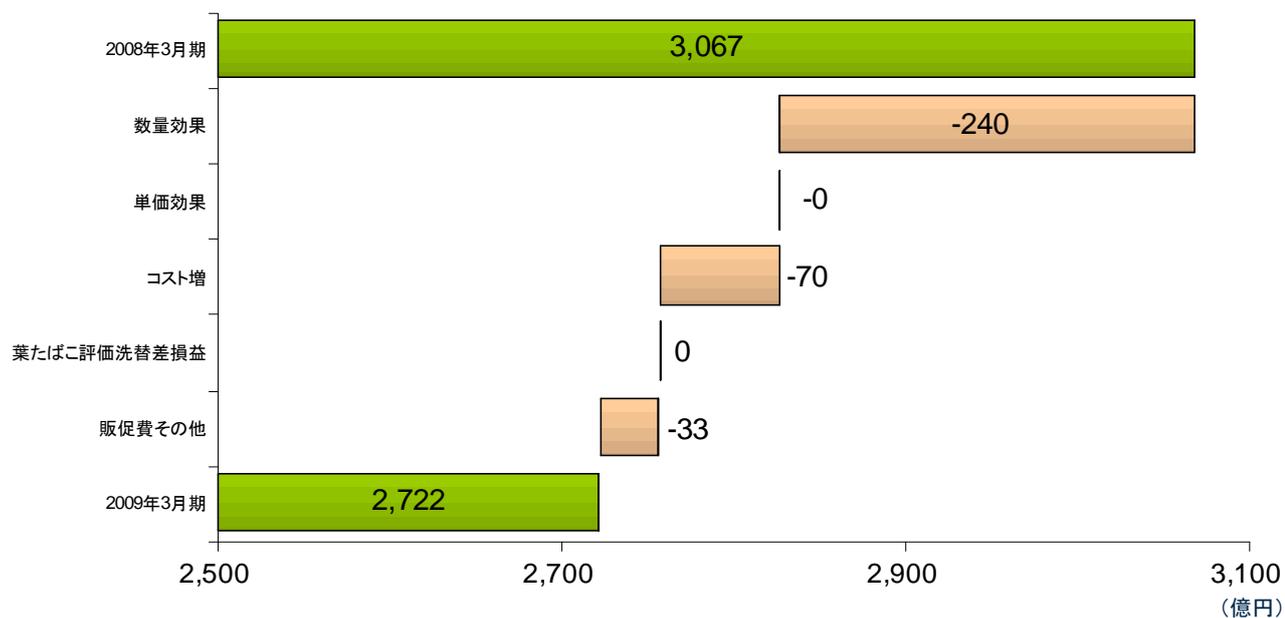
* 輸入たばこを除く

21

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

国内たばこ事業 EBITDA

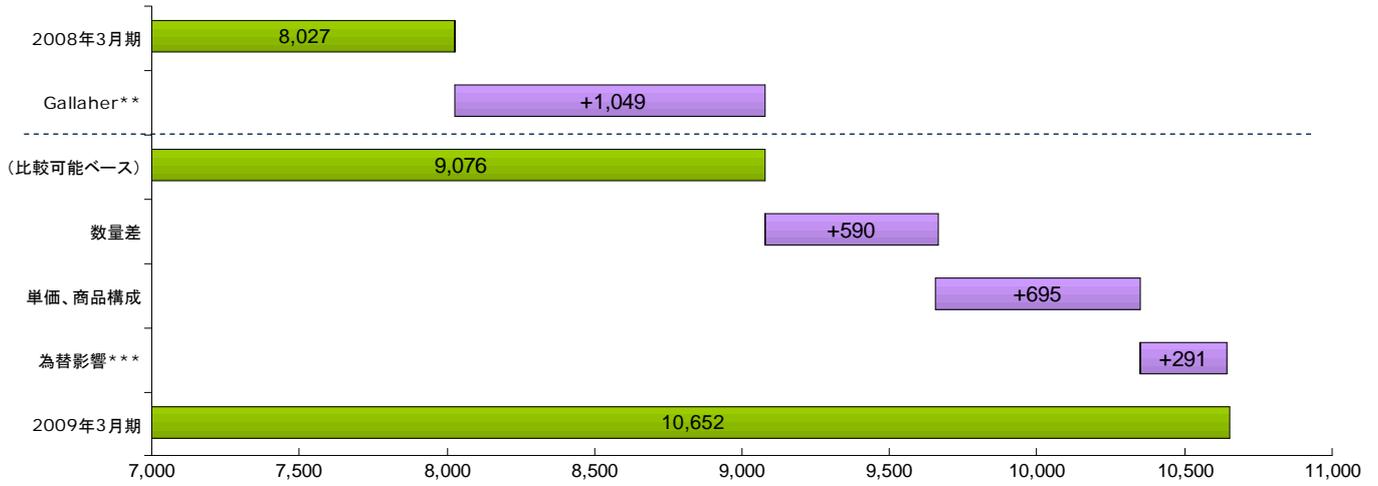


22

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

海外たばこ事業 税抜売上高*



(参考)セグメント情報ベース

(百万USD)

海外たばこ事業税抜売上高* 9,459億円 → 11,023億円 (1,563億円増)

- * Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く
- ** 統合前のGallaherの理論値
- *** USDと各現地通貨との間の為替影響

23



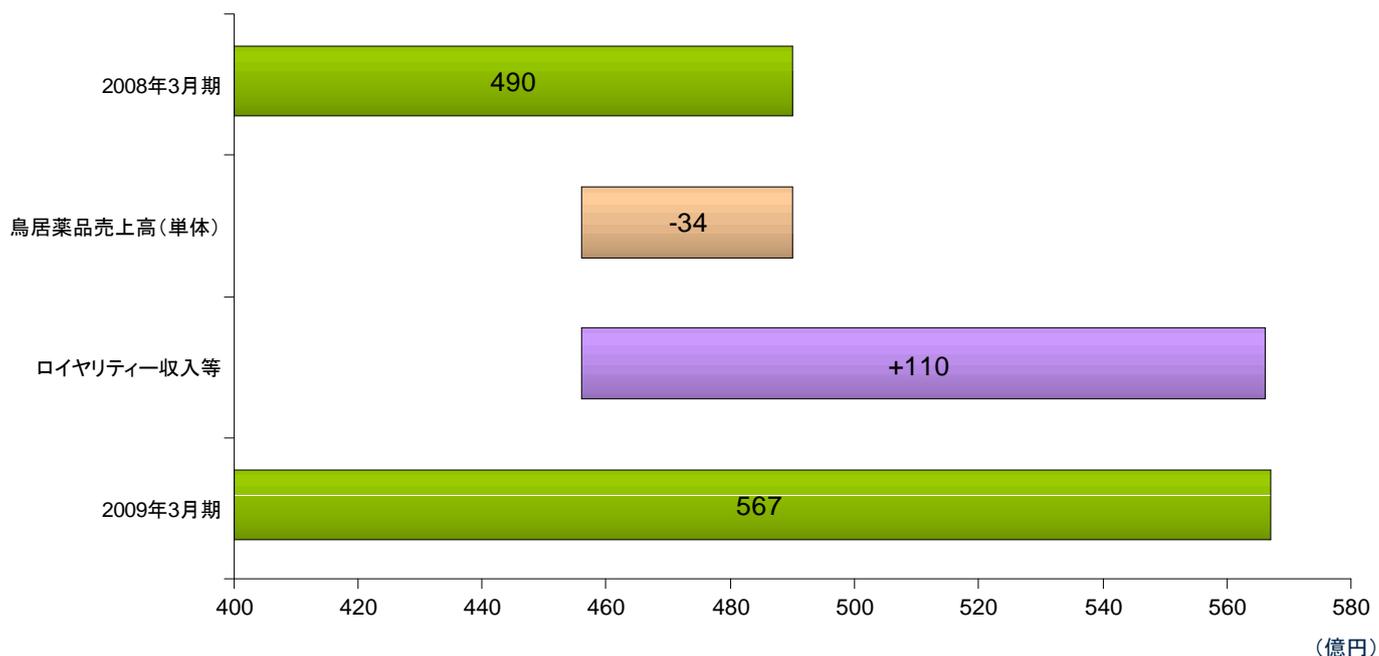
(このスライドは空白です)

24



2009年3月期 実績

■ 医薬事業 売上高

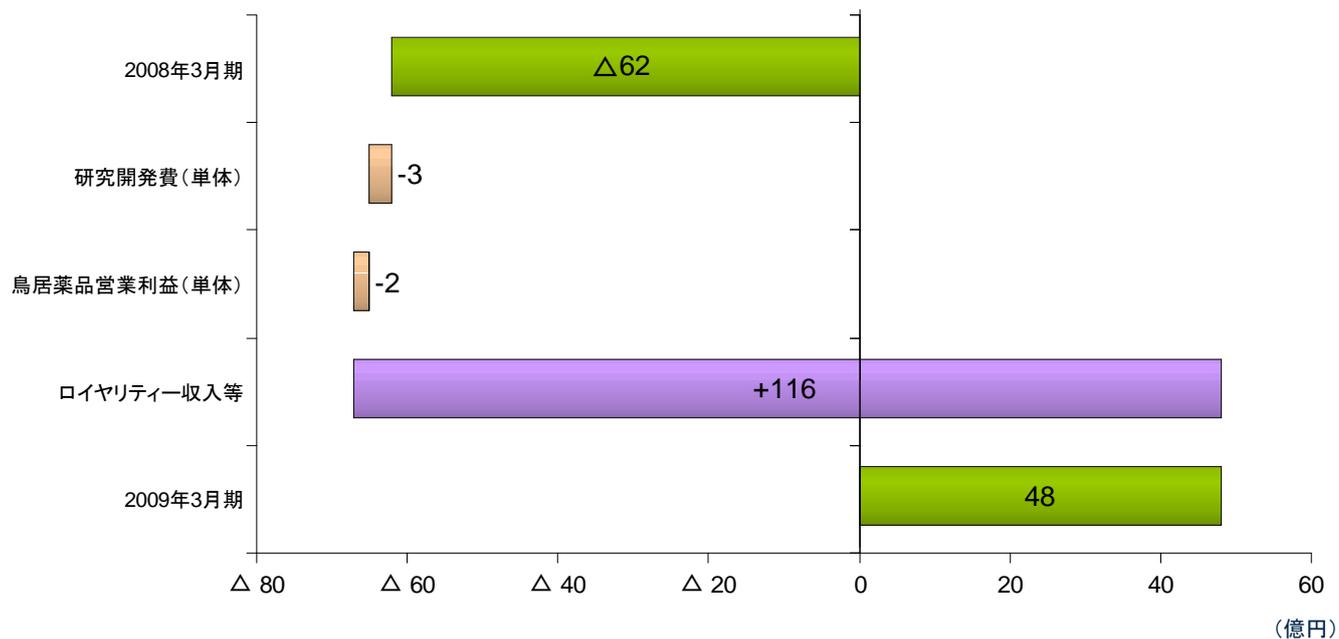


25

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

■ 医薬事業 EBITDA

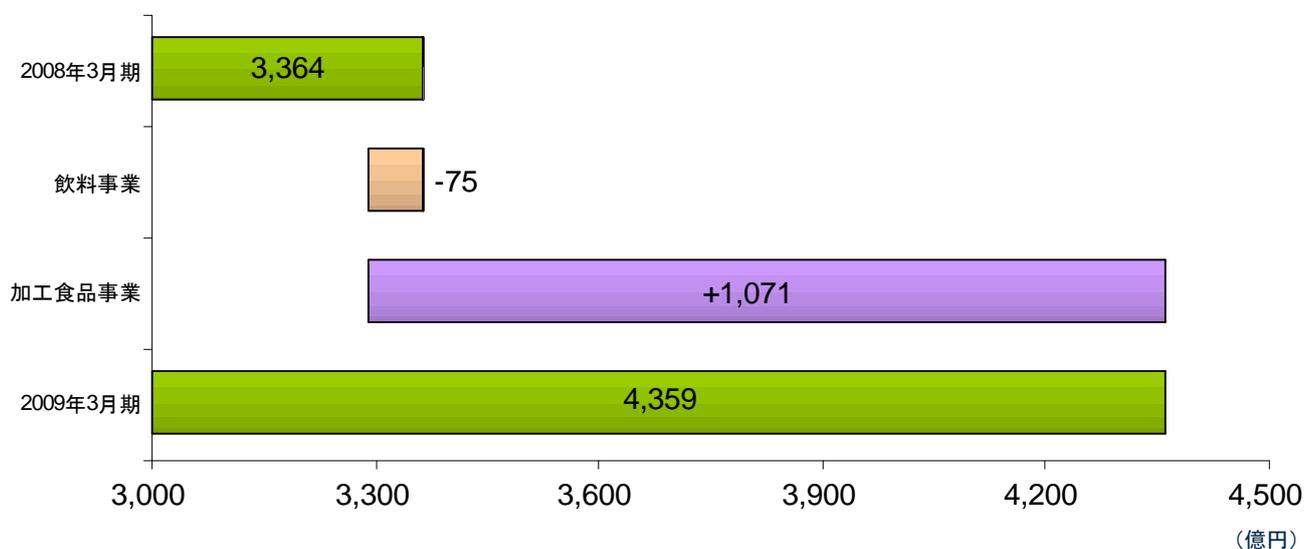


26

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

■ 食品事業 売上高

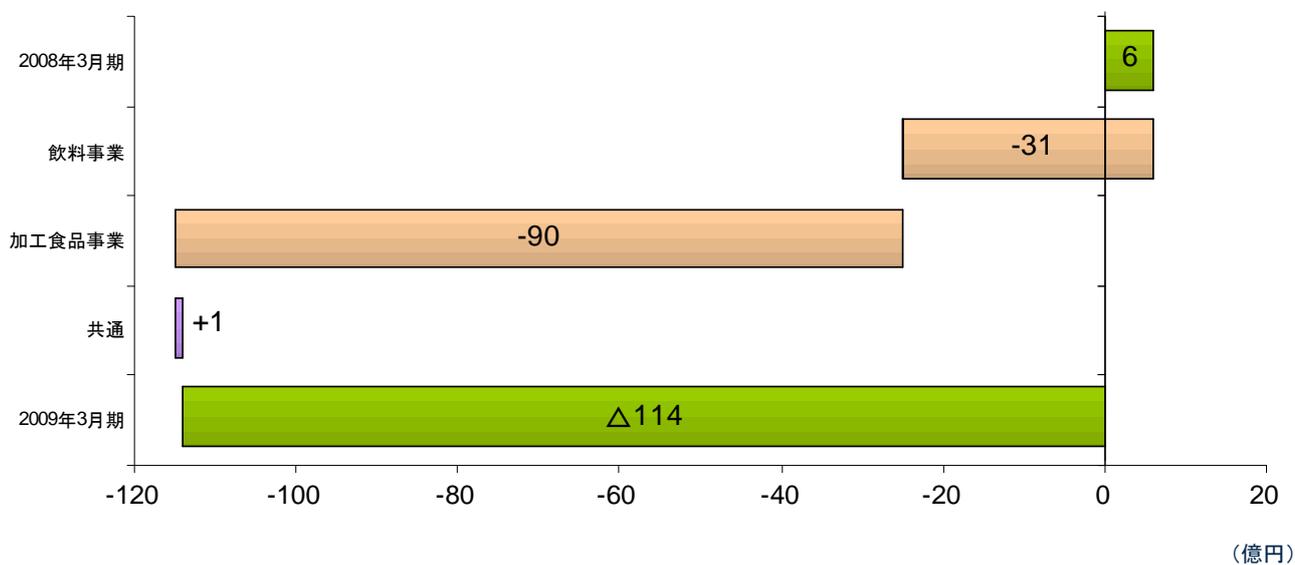


27

ひとの
ときを、
想う。 JT

2009年3月期 実績

■ 食品事業 営業利益

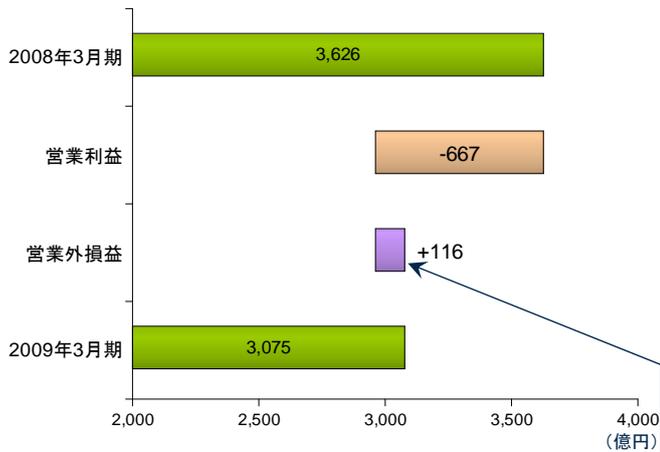


28

ひとの
ときを、
想う。 JT

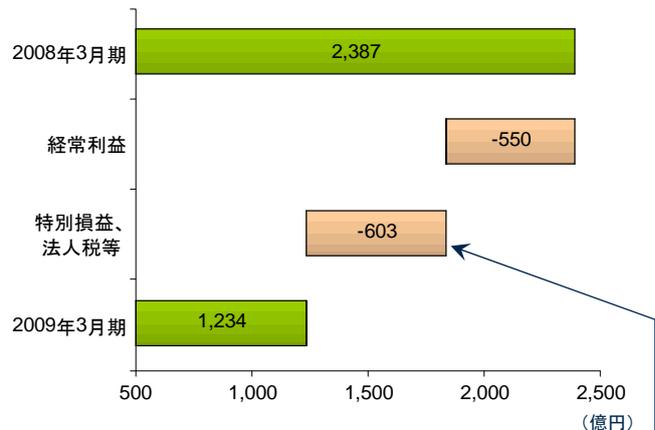
2009年3月期 実績

■ 経常利益



改善要因: 為替差損の減: 99億円
 たばこ災害援助金の減: 12億円 等
悪化要因: 支払利息の増: 95億円
 受取利息の減: 11億円 等

■ 当期純利益



改善要因: 固定資産売却損の減: 10億円 等
 固定資産売却益の減: 202億円
悪化要因: 事業構造強化費用の増: 179億円
 減損損失の増: 125億円

(このスライドは空白です)

2009年3月期 連結貸借対照表のポイント

■ 資産の部

(億円)



2008年3月末との比較

■ 流動資産は1,390億円減少

■ 固定資産は1兆0,683億円減少

- ◆ のれんの減少 △6,529億円
- ◆ 商標権の減少 △2,661億円

2009年3月期 連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部

(億円)



2008年3月末との比較

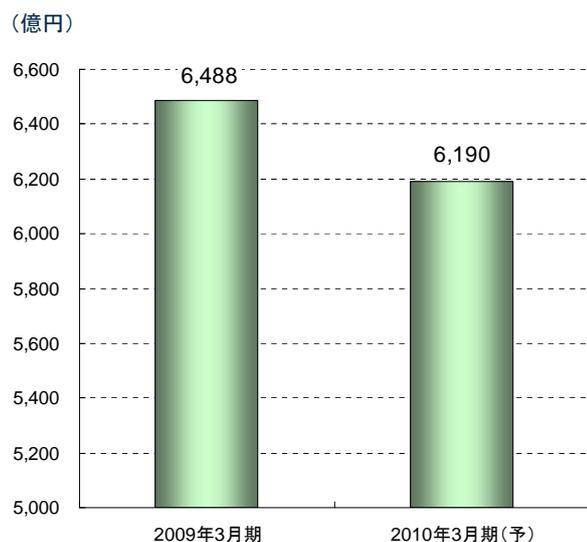
■ 負債合計は6,770億円減少

■ 純資産合計は5,303億円減少

- ◆ 利益剰余金の減少 △1,195億円
- ◆ 為替換算調整勘定のマイナス幅の拡大 △3,824億円
- 自己資本比率 **40.8% → 40.0%**

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 国内たばこ事業 調整後*税抜売上高



【主な減少要因】

・JT販売数量の減

1,599億本 → 1,525億本: Δ 74億本

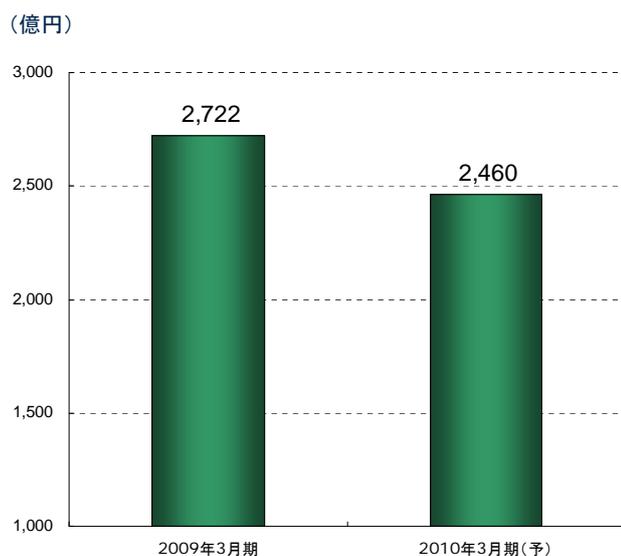
*輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

33

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 国内たばこ事業 EBITDA



【主な減少要因】

・JT販売数量の減(Δ 74億本): 約230億円

・コスト増、その他: 約30億円

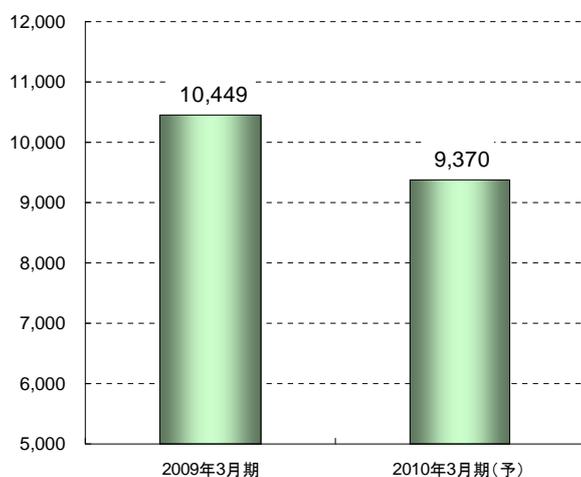
34

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 調整後*税抜売上高(ドルベース)

(百万USD)



【主な減少要因】

・GFBを中心としたトップライン成長は継続するものの、為替の影響により減収

(参考) 連結円ドルレート 103.48円 → 95.00円 (8.48円高)

*物流事業、PB、製造受託、その他を控除

35

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 EBITDA*(ドルベース)

(百万USD)



【主な減少要因】

・GFBを中心としたトップライン成長は継続するものの、為替の影響により減益

(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業EBITDA 3,379億円 → 2,090億円 (1,289億円減)
 連結円ドルレート 103.48円 → 95.00円 (8.48円高)

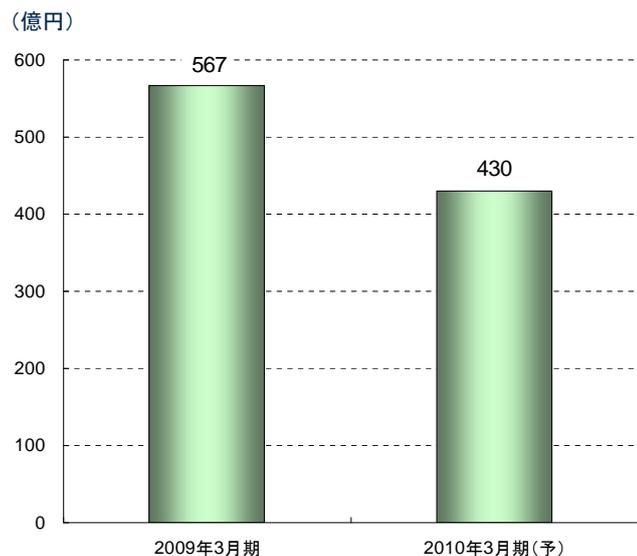
*JTへのロイヤリティ支払い前

36

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 売上高



【主な増加要因】

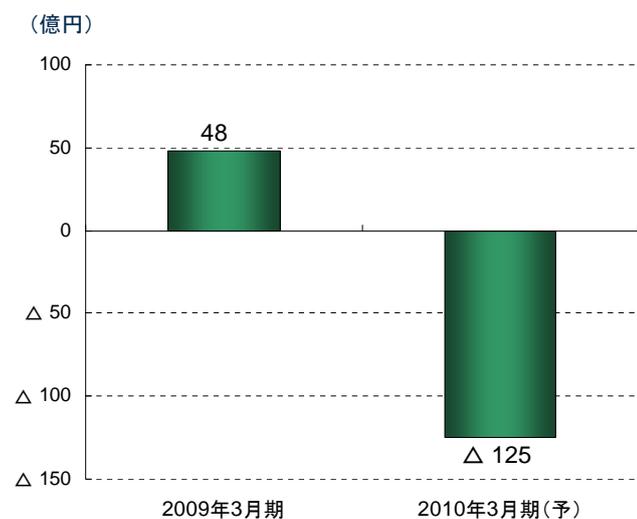
・鳥居薬品の売上高:373億円→417億円(+44億円)

【主な減少要因】

・2009年3月期にあった一時金収入等がなくなることによる減収

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 EBITDA



【主な減少要因】

・2009年3月期にあった一時金収入等がなくなることによる減益

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 売上高



【主な増加要因】

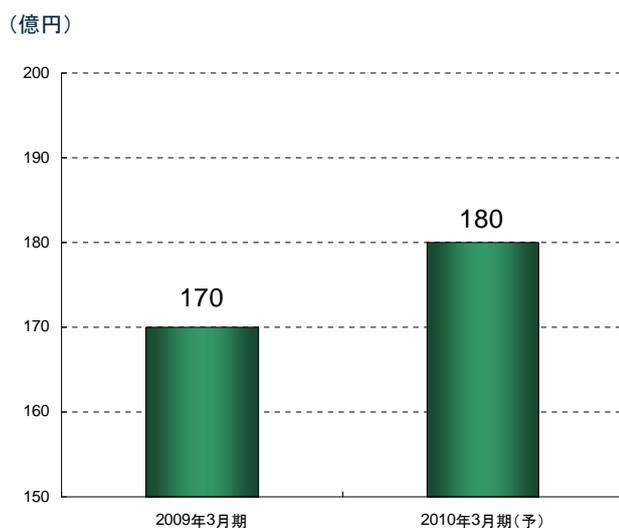
- ・加工食品事業及び調味料事業における注力分野への戦略集中
- ・基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化

【主な減少要因】

- ・チルド加工食品事業からの撤退による減収
- ・加工食品事業におけるノンコア事業非連結化
- ・景気後退影響による飲料自販機販路の減収

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 EBITDA

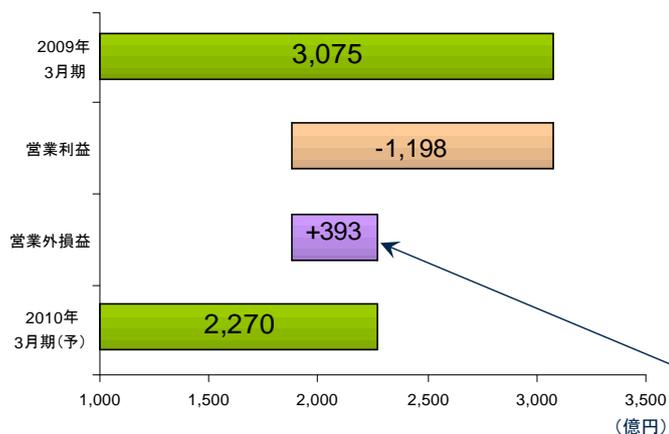


【主な増加要因】

- ・効率性の追求による収益力強化
- ・加工食品事業を中心としたシナジー効果

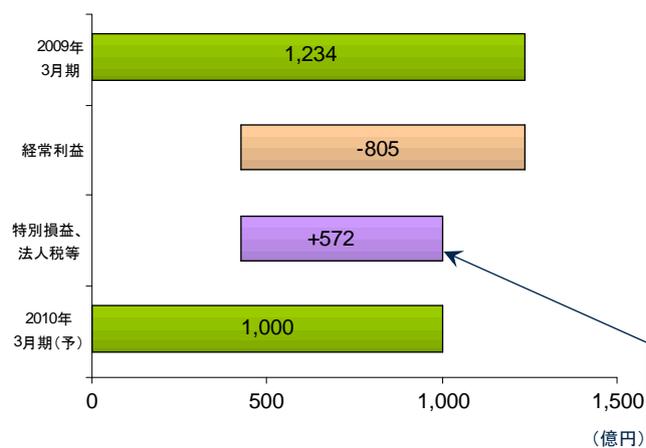
2010年3月期 業績予想_対前年度実績

経常利益



改善要因: 有利子負債の返済に伴う支払利息の減少 等

当期純利益



改善要因: 成人識別自販機導入費用負担の減少 等

悪化要因: 固定資産売却益の減少
合理化費用の増加(国内たばこ工場閉鎖等) 等

2009年3月期 決算データ集(1)

1.業績ハイライト

(単位:億円)

	08年3月期	09年3月期	増減
税込売上高	64,097	68,323	4,225
税抜売上高	25,873	28,271	2,397
EBITDA	6,020	6,462	441
営業利益	4,305	3,638	△ 667
経常利益	3,626	3,075	△ 550
当期純利益	2,387	1,234	△ 1,153

(参考:のれんの償却影響を除く主要利益)

営業利益	4,344	4,693	348
経常利益	3,665	4,130	465
当期純利益	2,425	2,289	△ 136

6.主要投資案件の償却却費

(単位:億円)

	08年3月期	09年3月期	償却年数	終了
JT				
旧RJRI関連				
商標権	293	294	10年	'09年4月
特許権	5	0	8年	'07年4月
加ト吉				
のれん	20	92	5年	'12年12月

(単位:百万ドル)

	07年12月期	08年12月期	償却年数
JTインターナショナル			
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権(注)	220	273	主に20年
のれん	-	910	20年

(注:商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月)

2.売上高の内訳

(単位:億円)

	08年3月期	09年3月期	増減
全社税込売上高(注1)	64,097	68,323	4,225
国内たばこ事業	33,623	32,004	△ 1,619
除く輸入たばこ	21,692	20,651	△ 1,040
海外たばこ事業(注1)	26,399	31,183	4,783
除く物流事業	23,810	27,879	4,068
全社税抜売上高(注1)(注2)	20,683	22,951	2,267
国内たばこ事業(注2)	7,150	6,793	△ 357
海外たばこ事業(注1)(注2)	9,459	11,023	1,563
医薬事業	490	567	76
食品事業	3,364	4,359	995
飲料事業	1,949	1,873	△ 75
加工食品事業	1,414	2,486	1,071
その他事業	218	207	△ 11

(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、海外たばこ事業の物流事業を除く

3.葉たばこ評価洗替差損益(注)

(単位:億円)

	08年3月期	09年3月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	△ 41	△ 41	0

(注): マイナス表示の場合は評価益

4.販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	08年3月期	09年3月期	増減
販売費及び一般管理費	7,502	9,141	1,638
人件費(注)	2,060	2,315	254
広告宣伝費	229	256	27
販売促進費	1,636	1,623	△ 13
研究開発費	451	472	21
減価償却費	803	1,130	326
その他	2,320	3,341	1,021

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

5.事業セグメント別EBITDA(注1)

(単位:億円)

	08年3月期	09年3月期	増減
全社EBITDA	6,020	6,462	441
営業利益	4,305	3,638	△ 667
減価償却費(注2)	1,715	2,824	1,108
国内たばこ事業EBITDA	3,067	2,722	△ 344
営業利益	2,223	1,882	△ 340
減価償却費(注2)	843	840	△ 3
海外たばこ事業EBITDA(注3)	2,707	3,379	672
営業利益	2,053	1,747	△ 305
減価償却費(注2)	653	1,631	977
医薬事業EBITDA	△ 62	48	111
営業利益	△ 96	10	106
減価償却費(注2)	33	38	4
食品事業EBITDA	83	170	86
営業利益	6	△ 114	△ 121
減価償却費(注2)	76	284	207
その他事業EBITDA	220	131	△ 89
営業利益	104	96	△ 7
減価償却費(注2)	116	34	△ 81

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	2,452	3,452	1,000
-------------------------------	-------	-------	-------

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

7.資本的支出

(単位:億円)

	08年3月期	09年3月期	増減
資本的支出	1,295	1,342	47
国内たばこ事業	572	465	△ 106
海外たばこ事業(注)	484	597	113
医薬事業	42	34	△ 8
食品事業	60	232	171
その他事業	147	11	△ 136

(注): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

8.手元流動性(注)

(単位:億円)

	08年3月末	09年3月末	増減
手元流動性	2,188	1,698	△ 489

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現先

9.有利子負債(注)

(単位:億円)

	08年3月末	09年3月末	増減
有利子負債	13,892	9,960	△ 3,932

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金+リース債務

10.主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	08年3月期	09年3月期	増減
JT販売数量(注)	1,677	1,599	△ 78
国内総需要	2,584	2,458	△ 126
JT販売数量シェア	64.9%	65.1%	0.2%pt
JT千本当税込売上高	12,699	12,698	△ 1
JT千本当税抜売上高	4,057	4,057	0

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2008年3月期35億本、2009年3月期36億本。

【海外たばこ事業】	07年12月期	08年12月期	増減
販売数量	3,856	4,523	667
CFB販売数量	2,032	2,455	423
連結円ドルレート	117.85	103.48	△ 14.37

【医薬事業】	08年3月期	09年3月期	増減
研究開発費(単体)	229	232	3

【食品事業-飲料事業】	08年3月末	09年3月末	増減
自動販売機台数(注)	257,000	254,000	△ 3,000
うちマーキング機	35,500	32,000	△ 3,500
うちコンビ機	71,500	76,500	5,000

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いつつ、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

11.従業員数(注)

(単位:人)

	08年3月末	09年3月末	増減
従業員数(連結)	47,459	47,977	518
国内たばこ事業	11,548	11,281	△ 267
海外たばこ事業	22,324	23,227	903
医薬事業	1,569	1,616	47
食品事業	11,169	10,975	△ 194
その他事業	441	429	△ 12
全社共通業務	408	449	41
従業員数(単体)	8,999	8,908	△ 91
在籍ベース従業員数(単体)	10,010	9,973	△ 37

(注): 従業員数は就業人員ベース

2010年3月期連結業績予想(前年実績比較)

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
税込売上高	68,323	60,000	△ 8,323
EBITDA	6,462	4,750	△ 1,712
営業利益	3,638	2,440	△ 1,198
経常利益	3,075	2,270	△ 805
当期純利益	1,234	1,000	△ 234
ROE(株主資本利益率)	6.8%	6.2%	△0.6%pt
フリーキャッシュフロー(注)	2,401	1,690	△ 711

(注)フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから
受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)
支払利息とその税影響額(42%)
投資活動CFから
有価証券取得による支出/有価証券売却による収入
投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他
上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(参考:のれんの償却影響を除く当期純利益)

当期純利益	2,289	1,970	△ 319
-------	-------	-------	-------

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
資本的支出	1,342	1,660	317
国内たばこ事業	465	650	184
海外たばこ事業	597	640	42
医薬事業	34	30	△ 4
食品事業	232	320	87
その他事業	11	10	△ 1

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
税込売上高 ^(注1)	68,323	60,000	△ 8,323
国内たばこ事業	32,004	30,480	△ 1,524
海外たばこ事業 ^(注1)	31,183	24,750	△ 6,433
税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	22,436	19,850	△ 2,586
国内たばこ事業 ^(注2)	6,488	6,190	△ 298
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	10,812	8,900	△ 1,912
医薬事業	567	430	△ 137
食品事業	4,359	4,130	△ 229
EBITDA	6,462	4,750	△ 1,712
国内たばこ事業	2,722	2,460	△ 262
海外たばこ事業	3,379	2,090	△ 1,289
医薬事業	48	△ 125	△ 173
食品事業	170	180	9
営業利益	3,638	2,440	△ 1,198
国内たばこ事業	1,882	1,880	△ 2
海外たばこ事業	1,747	710	△ 1,037
医薬事業	10	△ 165	△ 175
食品事業	△ 114	△ 80	34
減価償却費	2,824	2,310	△ 514
国内たばこ事業	840	580	△ 260
海外たばこ事業	1,631	1,380	△ 250
医薬事業	38	40	1
食品事業	284	260	△ 24

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業 調整後税抜売上高 ^{(注1)(注3)}	10,449	9,370	△ 1,079
海外たばこ事業EBITDA ^(注1) (ロイヤリティ支払前)	3,452	2,500	△ 951

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国、その他を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除

※海外たばこ事業の販売数量において今回より計上するCigar/Pipe/Snusについては、従来から売上高に計上している。

(単位:円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
1株当り年間配当金	5,400	5,600	200
配当性向	41.9%	53.6%	11.7%
(のれん調整後)	22.6%	27.2%	4.6%

業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業 (単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
販売数量	1,599	1,525	△ 74

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

海外たばこ事業 (単位:億円、円)

	08年12月期 実績	09年12月期 見込	増減
販売数量	4,459	4,560	101
GFB販売数量	2,455	2,620	165
1USDドル	103.48	95.00	△ 8.48

※Private Brand除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	08年12月期 実績	09年12月期 見込	償却年数	終了
IBRJRI及び旧Gallaher関連	910	910	20年	'27年3月

(注):のれんの償却終了は、IBRJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	償却年数	終了
加ト吉	92	92	5年	'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

JT (単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	償却年数	終了
IBRJRI関連	294	24	10年	'09年4月

JTインターナショナル (単位:百万ドル)

	08年12月期 実績	09年12月期 見込	償却年数	終了
IBRJRI及び旧Gallaher関連	273	220	主に20年	'27年3月

(注):商標権の償却終了は、IBRJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

【当資料取扱上の注意】

将来に関する記述等についてのご注意

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	540	368	446	393	1,749
2007年度	427	430	437	382	1,677
2008年度	420	408	407	362	1,599

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	7,403	5,475	6,646	5,870	25,395
2007年度	6,367	6,414	6,516	5,700	24,998
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	11,663	12,677	12,688	12,699	12,371
2007年度	12,698	12,694	12,704	12,702	12,699
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1

伸張セグメントシェア

1. 四半期別ターール1mgセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	20.3	20.5	21.3	21.8	20.9
2007年度	22.4	22.3	22.5	23.0	22.5
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	61.7
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	61.9
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	19.0	20.2	19.7	20.5	19.8
2007年度	20.7	21.4	21.2	21.8	21.3
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	34.4
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	34.6
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	23.6	23.9	23.2	23.9	23.6
2007年度	23.7	23.7	24.1	24.0	23.9
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	23.2
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	22.5
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	4.12	3.84	3.85	4.34	4.04
2007年度	4.41	4.10	4.77	5.13	4.59
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96

* ピアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、ベヴェル・フレアは2006年12月より、D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2009年4月30日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（パノイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	HSD-1（11βヒドロキシステロイド脱水素酵素）阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内：Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出（鳥居薬品と共同開発）

前回（2009年2月9日）公表時からの変更点： JTT-751の国内臨床入り
JTT-651の開発中止

【付記事項】

英国グラクソ・スミスクライン社は、2006年4月18日に当社が同社へ全世界での開発・商業化権を導出したMEK阻害剤が臨床入り(Phase1)したことを2009年3月に公表